

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語演習 I A	
科目基礎情報							
科目番号	0006			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	はちの発音 ハミング8メソッド 大庭まゆみ著 ハミングバード、Listening Studio Standard いいずな書店編集部著 いいずな書店、キクタン英会話[海外旅行編] 一杉武史 アルク						
担当教員	嵯峨原 昭次						
到達目標							
1. ハミング発音step1-2の体操ができる。 2. ハミング発音Step3の音の形ができる。 3. ハミング発音Step4の音のもと（母音、子音、Lの音、Rの音）が発音できる。 4. ハミング発音Step5の音の動きが発音できる。 5. 英語で自己紹介ができる。 6. クラスメートとペアーを作り英語で対話を発表できる。 7. 準2級リスニングレベルの問題を解くことができる。 8. 英会話表現を認知することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	ハミング発音step1-2の体操テストで8割以上取得できる。		ハミング発音step1-2の体操テストで6割以上取得できる。		ハミング発音step1-2の体操テストで6割以上取得できない。		
評価項目2	ハミング発音Step3の音の形テストで8割以上取得できる。		ハミング発音Step3の音の形テストで6割以上取得できる。		ハミング発音Step3の音の形テストで6割以上取得できない。		
評価項目3	ハミング発音Step4の音のもと（母音、子音、Lの音、Rの音）発音テストで8割以上取得できる。		ハミング発音Step4の音のもと（母音、子音、Lの音、Rの音）発音テストで6割以上取得できる。		ハミング発音Step4の音のもと（母音、子音、Lの音、Rの音）発音テストで6割以上取得できない。		
評価項目4	ハミング発音Step5の音の動きテストで8割以上取得できる。		ハミング発音Step5の音の動きテストで6割以上取得できる。		ハミング発音Step5の音の動きテストで6割以上取得できない。		
評価項目5	原稿を暗記して、正しい英語発音で、説得力のある英語で発表できる。		原稿を暗記して発表できる。		原稿を暗記して発表できない。		
評価項目6	原稿を暗記して、正しい英語発音で、説得力のある英語で、ペアーで自然に発表できる。		原稿を暗記して発表できる。		原稿を暗記して発表できない。		
評価項目7	英検準2級リスニング問題20問中16問以上正解できる。		英検準2級リスニング問題20問中12問以上正解できる。		英検準2級リスニング問題20問中12問以上正解できない。		
評価項目8	英会話表現テスト（満点25点）で20点以上取得できる。		英会話表現テスト（満点25点）で15点以上取得できる。		英会話表現テスト（満点25点）で15点以上取得できない。		
学科の到達目標項目との関係							
本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 2-b							
教育方法等							
概要	発音、リスニング、スピーキングを基礎から演習し、後期の英語演習 I Bにつなげる。また、その成果を英語 I、II の総合学習に活用する。						
授業の進め方・方法	授業の大半を英語で進める。英語の発音授業は、専用DVD、鏡を利用して、担当教員が詳細に説明し、数週間後必ず発音実践試験が実施される。また、発音授業についていけない学生のために補講や個人指導がある。リスニング・スピーキングの演習等、LL機器を利用して進める。						
注意点	防音設備の整ったLL教室で失敗を恐れずに積極的に英語をしゃべること。発音・スピーチ・リスニングの諸活動に積極的に参加すること。評価のほとんどは実践的な活動で評価するので、発表、インタビューテストなど真面目に取り組むこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Pronunciation(Step1)		Step1の体操ができる。		
		2週	Pronunciation(Step2)		Step2の体操ができる。		
		3週	Pronunciation(Step3)		step3の音の形ができる。		
		4週	Speech①(自己紹介)		英語で自己紹介ができる。		
		5週	Listening①		リスニング教材を利用して準2級リスニングレベルの問題を解くことができる。		
		6週	表現①		対話（基礎）表現、対話（感情）表現を認知することができる。		
		7週	その他①（強弱読み、フォローイング、絵カード説明、スピーキング）		実践演習ができる。		
	2ndQ	8週	Pronunciation(Step4)		step4の音（母音、子音、Lの音、Rの音）ができる。		
		9週	Pronunciation(Step5)		step5のもと、Step5の音の動きが発音できる。		
		10週	Speech②(対話)		クラスメートとペアーを作り英語で対話を発表できる。		
		11週	Listening②		リスニング教材を利用して準2級リスニングレベルの問題を解くことができる。		
		12週	表現②		対話（基礎）表現、対話（感情）表現を認知することができる。		
		13週	その他②（強弱読み、フォローイング、絵カード説明、スピーキング）		実践演習ができる。		

	14週	その他③（強弱読み、フォローイング、絵カード説明、スピーキング）	実践演習ができる。				
	15週	試験の答案の返却・解説	試験において間違えた部分を理解できる。				
	16週						
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0